

一般質問を行いました 第3回定例会報告



～ 生活困窮者支援をはじめ、23項目を質問 ～

一般質問の全文はこちらから▶

項目	主な質問	区の答弁
生活再建の視点に立った債権管理	今こそ債権管理において生活再建の視点が大切だと思うが、どのように考えているのか。	納付相談の際、適切に生活相談窓口や関係機関に繋げる仕組みづくりについて、検討しているところである。
女性・シングルマザーの貧困と対策について	公的機関とつながりにくいシングル女性への支援を基本計画に位置づける必要があると思うが、いかがか。	男女共同参画基本計画に、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」にもとづく市町村基本計画を位置づけることを予定している。女性を相談・支援につなげるための環境整備について、盛り込んでまいりたい。
介護保険料の設定	第9期の保険料設定にあたっては、積極的な基金取り崩しなどにより、保険料を下げる、少なくとも据え置くべきであると考えているが、いかがか。	第9期の介護保険料については、令和6年度から始まる次期の計画期における介護給付費等の推計に基づき、適切に設定したいと考えている。
学校統廃合の課題	学校新設を視野に入れた学校再編計画の検証を今年度中に開始すべきであると考えているが、いかがか。	令和6年度に中野区立小中学校再編計画に基づく小中学校の再編が終了する。この目標の達成状況について検証を行う予定。今年度から準備する。
東中野駅東口周辺まちづくりと駅舎のバリアフリー化	区の関連部署と地域の方々、一堂に会して検討する場を設定するなど、関係者が集まり踏み込んだ議論のできる場を設定できないか。見解を求める。	駅及び駅周辺のバリアフリー化に加え、商店街の賑わいや活性化の視点が不可欠と考えており、ハードとソフト両面で関係部署が密に連携して、地域の意向把握と協議に十分努めながら検討を進める。

「公」の役割果たす区政を（決算の討論より）

～ 中野区は税収が増える一方で、格差が広がる ～

2022年度はどういう年だったか……

新型コロナウイルス感染症大流行の3年目に加え、急激な物価上昇の一方で賃金は下がり、特に個人・中小事業者とそこで働く方々に深刻な影響がありました。そうした中、中野区政が「公」の役割を発揮し、住民の暮らしを守る施策、区内事業者の9割を占める個人・中小事業者を支えることが求められた年度でした。同時に、2022年3月に制定された【子どもの権利に関する条例】【公契約条例】【人権及び多様性を尊重するまちづくり条例】という区政運営の基礎となる3つの条例を、どう具体化させていくかが問われる年度でもありました。

評価できる施策、今後の課題……

保育園待機児ゼロ、学校図書館の充実、児童館設備の充実、子どもの貧困対策としての学習支援事業や子ども食堂の運営支援の拡充、夏休み期間の学校図書室開放による居場所づくりや読書活動等をすすめたことは重要でした。また、ひきこもり相談窓口が設置され、

様々な連携も始まりました。一方で、気候変動対策の執行率が低く、区が環境基本計画で掲げる目標を本気で達成する姿勢が問われます。物価高騰対策では、区的一般財源の支出は1億8,400万円余で、あまりにも少ない状況でした。

当初の想定より歳入は好調……

区の各財政指標は、区の財政が極めて健全な状態にあることを示しています。当初の想定より、納税義務者が増加したとともに、納税義務者一人あたりの総所得金額も増加しました。しかし、歳入が非常に好調である一方で、住民に経済格差が広がっている側面があります。生活援護課が窓口となった生活相談件数は、高止まりしています。補正予算で、区独自に低所得者向けの対象世帯を拡大しましたが、現在給付中の世帯と合わせると、約63,000世帯となります。これは、区内全世帯の約3割に及びます。区が目指す誰一人取り残さない区政の実現に向けて「公」の役割を今後さらに発揮することが求められます。

新庁舎1階区民交流スペースの機能及び運用について

～ 共創の広場「ナカノナカニワ」がコンセプト～

来年5月に移転する区役所の1階は、地域活動、産業・都市観光、文化・芸術の情報発信機能を備えた、区民が共創する場として整備するとの報告がありました。

目的別に5つのスペースに分けて運用されること。このうち、「イベントスペース」と「区民利用会議室」は有料での貸出も行う予定です。また、「多目的スペース」「イベントスペース」「西側広場」は、愛称を募集する予定。



▲ 区民委員会資料から抜粋

区議会定例会のお知らせ

11月27日(月)～12月12日(火)

今年最後の区議会定例会が上記日程で行われる予定です。日本共産党議員団からは、浦野区議及びいさ区議が質問に立つ予定です。議員団5名、地域の皆さんの声をしっかり届けながら、公約実現へ引き続き取り組みます。

ぜひ、傍聴にお越しください。

製品プラスチックの資源回収について

～ 2024年4月から「製品プラスチック回収」～

現在、「燃やすごみ」として回収されている「製品プラスチック」が、来年4月から「資源プラスチック」として「容器包装プラスチック」と一緒に回収されることになる予定です。説明会のほか、来年2月から3月に『資源とゴミの出し方』が全戸に配布されること。

委員会では、「分別は迷うことも多い。様々な工夫をして分別の周知を行う事」を求めました。



日本共産党議員団として
意見書を提出しました

可決

核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

賛成:立・国・ネ・無、公明、都ファ
無所属(5人)、共産
反対:自民、無所属(2人)

可決

- ◆ 介護報酬の引き上げを求める意見書
- ◆ 東京都の018サポート事業給付金を生活保護の収入認定から除外することを求める意見書

全会一致

